



超異分野学会 東京大会2022



【大会テーマ】知識の還流 — 地球貢献の時代へ —

【開催日時】2022年3月4日(金)・5日(土)

【開催場所】TOC GOTANDA MESSE (TOC 五反田メッセ)
東京都品川区西五反田6-6-19

地球という限られた環境の中で、我々は様々なものを循環させ、持続可能な状況を維持しながら、そして新たなものを生み出しながら暮らしていかなければなりません。この絶対的なチャレンジは、まさに閉じた環境中で最大限の熱量で化学反応を行う“還流”に通ずるものがあるのではないでしょうか。東京大会2022では“知識の還流”をテーマに地球貢献に資する新たな知識について持続可能な視点で議論します。

パートナー企業



株式会社ACSL



株式会社アオキシテック



株式会社池田理化



弁護士法人内田・鮫島法律事務所



オムロン株式会社



協和発酵バイオ株式会社



KOBASHI HOLDINGS株式会社



サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社



ダイキン工業株式会社



DIC株式会社



東海旅客鉄道株式会社



東洋紡株式会社



日本財団



日本たばこ産業株式会社



日本ユニシス株式会社



株式会社フォーカスシステムズ



株式会社プランテックス



株式会社ユーグレナ



開催によせて

超異分野学会 東京大会2022 大会長 岡崎 敬

長引くコロナ禍は、場に来ることの重要性を再確認させてくれました。

今年のテーマは「知識の還流 — 地球貢献の時代へ —」。

その場に来る全ての参加者の熱を無駄なく活かし、知識と知識の融合反応を起こしましょう。

セッション一覧

各セッションの詳細はこちらのWEBページのプログラム情報をご覧ください。



Day1_3月4日(金) 9:30-18:50

青字：セッションパートナー

	メインホール	セッションルーム A	セッションルーム B	ポスター・ブース会場
9:30	開会式			掲示・展示
10:00	〈ピッチ〉 研究者・ベンチャーによる超異分野ピッチ 「テクノロジースブラッシュ」			
11:00				ポスター・ブース コアタイム
12:00	昼休憩			
13:00	〈基調講演〉 『役に立たない』といわれたオートファジー研究で 新領域を拓く 吉森 保 氏 大阪大学 生命機能研究科 生命機能専攻 教授 (兼任)医学系研究科 教授 生物をお手本にしながら生物を超える材料を作る “メタバイオ” 藪 浩 氏 東北大学 材料科学高等研究所 デバイス・システムグループ ジュニア主任研究者 東北大学 多元物質科学研究所 准教授			掲示・展示
13:50	移動			
14:00	〈セッションd1m1〉 技術の集合体でアジアの課題に挑む —マレーシアにおけるドローン農作物病理診断事業の開発— 株式会社ACSL powered by ものづくり研究センター	〈セッションd1a1〉 研究所革命 —突破する個、越境する組織— サントリーグローバルイノベーションセンター 株式会社	〈セッションd1b1〉 人はなぜ移動するのか —人類史と人間工学からの再定義— 東海旅客鉄道株式会社	
14:50	移動・休憩			
15:20	〈セッションd1m2〉 リアルテックベンチャーのブースに 製造支援が不可欠な理由 KOBASHI HOLDINGS株式会社	〈セッションd1a2〉 研究開発型ベンチャーの 必修科目「攻めの知識戦略」 弁護士法人 内田鮫島法律事務所 powered by 投資育成研究センター	〈セッションd1b2〉 ヒトの手、神の手、機械の手 —ライフサイエンスの実験は どこまで自動化できるのか— オムロン株式会社 powered by 知識創業研究センター	
16:10	移動・休憩			
16:40	〈セッションd1m3〉 「海ごみ問題」を超異分野チームで解く (その3「収益を得る」) 日本財団	〈セッションd1a3〉 エンジニアリング オブ 複雑発酵 —我が家の糠床は 科学技術で完コピできるのか?— 協和発酵バイオ株式会社	〈セッションd1b3〉 アグリテックはオイシイのか!? 株式会社フォーカスシステムズ	
17:30	移動			
17:50	〈セッションd1m4〉 リバネス研究アワード2022 表彰式・受賞特別講演			
18:50	交流会 (~19:30)			



基調講演 13:00-13:50 @メインホール

『役に立たない』といわれた オートファジー研究で新領域を拓く



吉森 保氏

大阪大学
生命機能研究科 生命機能専攻 教授
(兼任) 医学系研究科 教授

「何の役に立つのか?」と問われながらも好奇心で基礎研究に向き合い、オートファジー分野の黎明期を築いてきた吉森氏。研究に対する考え方、科学を社会に還元する想いを語ります。

生物をお手本にしなが 生物を超える材料を作る“メタバイオ”



藪 浩氏

東北大学
材料科学高等研究所 デバイス・システムグループ
ジュニア主任研究者
多元物質科学研究所 准教授

生物に学び、生物を人工材料でより高度に模倣しながら、様々な機能性材料を創出してきた“メタバイオ”について、自己組織化やバイオミメティクス研究などの事例を交えて紹介いただきます。



セッション

@メインホール

青字：セッションパートナー (☎)：モデレーター

14:00 技術の集合体でアジアの課題に挑む
-14:50 一マレーシアにおけるドローン農作物病理診断事業の開発—
株式会社ACSL
powered by ものづくり研究センター

● 鷲谷 聡之氏 株式会社ACSL 代表取締役社長兼最高執行責任者 (COO)
● 中村 隆洋氏 株式会社ポーラスター・スペース 代表取締役
● 上野 裕子 Leave a Nest Malaysia Sdn. Bhd. Director
☎ 丸 幸弘 株式会社リバネス 代表取締役 グループCEO

15:20 リアルテックベンチャーのブーストに
-16:10 製造支援が不可欠な理由
KOBASHI HOLDINGS株式会社

☎ 坂下 翔悟氏 KOBASHI HOLDINGS株式会社 社長室執行役員 /
KOBASHI ROBOTICS株式会社 COO
● 永田 彦彦氏 リアルテックファンド 代表 / 株式会社ユウグレナ 取締役 代表執行役員 CEO
● 原 雄司氏 株式会社ExtraBold 代表取締役
● 寺嶋 瑞仁氏 株式会社CuboRex 代表取締役 CEO / CTO

16:40 「海ごみ問題」を超異分野チームで解く
-17:30 (その3「収益を得る」)
日本財団

● 工藤 裕氏 株式会社天の技 代表取締役
● 小倉 淳氏 株式会社ノベルジェン 代表取締役社長
● 光山 昌浩氏 サステイナブルエネルギー開発株式会社 代表取締役社長 CEO
● 小篤 不二夫氏 株式会社ピリカ 代表取締役
☎ 篠澤 裕介 株式会社リバネス 執行役員

17:50 リバネス研究アワード2022
-18:50 表彰式・受賞特別講演
自らの研究に情熱を燃やして独創的な研究を遂行し、自身の研究の粋を大きく広げながら今まさに躍進する研究者を、次世代の研究者へのロールモデルとして表彰します。

[先端研究推進部門]
須藤 雄気氏 岡山大学学術研究院医歯薬学域(薬学系)教授
[ロドプシンの生物物理化学研究からの挑戦:「光をくすりへ!?!」]
[社会実装部門]
瀬々 潤氏 株式会社ヒューマノーム研究所 代表取締役社長
「誰でも作れる人工知能を広げ、健康社会を実現する」

@セッションルームA

青字：セッションパートナー (☎)：モデレーター

14:00 研究所革命
-14:50 一突破する個、越境する組織—
サントリグローバルイノベーションセンター株式会社

● 中原 光一氏 サントリグローバルイノベーションセンター株式会社 研究推進部長
● 林田 英樹氏 東京農工大学大学院工学部産業技術専攻 教授
● 吉岡(小林) 徹氏 一橋大学 イノベーション研究センター 講師
☎ 井上 淨 株式会社リバネス 代表取締役副社長 CTO

15:20 研究開発型ベンチャーの必修科目
-16:10 「攻めの知識戦略」
弁護士法人 内田鮫島法律事務所
powered by 投資育成研究センター

● 鮫島 正洋氏 弁護士法人内田・鮫島法律事務所 代表パートナー 弁護士・弁理士
● 芦澤 美智子氏 横浜市立大学 国際商学部 准教授
● 首藤 剛氏 熊本大学大学院生命科学研究部附属グローバル天然物科学研究センター 准教授
☎ 福田 裕士 株式会社リバネス 投資育成研究センター センター長

16:40 エンジニアリング オブ 複雑発酵
-17:30 一我が家の糠床は科学技術で完コピできるのか?—
協発発酵バイオ株式会社

● 田畑 和彦氏 協発発酵バイオ株式会社 経営企画部 事業開発G 主幹
● 市橋 泰範氏 理化学研究所 バイオリソース研究センター 植物-微生物共生研究開発チーム チームリーダー
● 伊藤 光平氏 株式会社BIOTA 代表取締役
☎ 武田 隆太 株式会社リバネス 戦略開発事業部/グループ開発事業本部

@セッションルームB

青字：セッションパートナー (☎)：モデレーター

14:00 人はなぜ移動するのか
-14:50 一人類史と人間工学からの再定義—
東海旅客鉄道株式会社

☎ 井上 一鷹氏 株式会社Sun Asterisk Business Development Section Manager
● 岡嶋 達也氏 東海旅客鉄道株式会社 執行役員 総合技術本部副本部長・技術開発部長
● 鈴木 英明氏 国立民族学博物館 グローバル現象研究部 准教授
● 千野 歩氏 株式会社Ashirase 代表取締役 CEO

15:20 ヒトの手、神の手、機械の手
-16:10 一ライフサイエンスの実験はどこまで自動化できるのか—
オムロン株式会社
powered by 知識創業研究センター

● 根岸 敦彦氏 オムロン株式会社インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー 企画室 業界マーケティング部 主査
● 堀之内 貴明氏 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人工知能研究センター 主任研究員
● 望月 正雄氏 株式会社バックス・バイオイノベーション
☎ 高橋 宏之 株式会社リバネス 執行役員

16:40 アグリテックはオイシイのか!?
-17:30 株式会社フォーカシステムズ

● 松坂 裕治氏 株式会社フォーカシステムズ 事業創造室長
● 西岡 一洋氏 Kisvin Science株式会社 代表取締役社長
● 大塚 泰造氏 株式会社ポケットマルシェ 取締役 社長室長
☎ 高橋 修一郎 株式会社リバネス 代表取締役社長 COO



Day2_3月5日(土) 9:30-18:20

青字：セッションパートナー

	メインホール	セッションルーム A	セッションルーム B	ポスター・ブース会場
9:30	開会式			掲示・展示
10:00	〈ピッチ〉 研究者・ベンチャーによる超異分野ピッチ 「テクノロジースブラッシュ」			
11:00				ポスター・ブース コアタイム
12:00	昼休憩			
13:00	〈基調講演〉 異分野およびビックデータ解析で見た 「健康長寿の扉の奥」とは 大石 充 氏 鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学 教授 コンテナ輸送から二足歩行へ。 異分野に拡張する重心検知理論 渡邊 豊 氏 東京海洋大学 海洋工学系 流通情報工学部門 教授			掲示・展示
13:50	移動			
14:00	〈セッションd2m1〉 極限・限定環境での食料生産 —サステナブルビジネスは宇宙食領域に活路あり— 株式会社ユージュレナ	〈セッションd2a1〉 脱・既存指標の組織論 —「説明しにくい大事なこと」を どう見える化するか— 株式会社池田理化 powered by キャリアデザイン研究センター / 教育総合研究センター	〈セッションd2b1〉 畜産IoTを実現する “ものづくり”の底力とは 株式会社アオキシテック	
14:50	移動・休憩			
15:20	〈セッションd2m2〉 魚食の価値観を塗り替える DIC株式会社	〈セッションd2a2〉 CO ₂ 共生社会 —2050年カーボンニュートラル実現 に向けたCO ₂ との付き合い方— ダイキン工業株式会社	〈セッションd2b2〉 アレもコレもソレも!? 「ゲルの時代」がやってくる 東洋紡株式会社	
16:10	移動・休憩			
16:40	〈セッションd2m3〉 共創のリアルから見えてくる 大手企業の人材育成 日本ユニシス株式会社	〈セッションd2a3〉 「習慣」「新奇」「極限」から紐解く、 人に嗜好品が必要な理由 日本たばこ産業株式会社	〈セッションd2b3〉 植物の限界突破に挑む —AI・機能性・物質生産、完全制御の その先へ— 株式会社ブランテックス powered by 農林水産研究センター	
17:30	移動			
17:50	閉会式			
18:20	交流会(～19:00)			



基調講演 13:00-13:50 @メインホール

異分野およびビックデータ解析で見た「健康長寿の扉の奥」とは



大石 充 氏
鹿児島大学
心臓血管・高血圧内科学 教授

大石氏が垂水市の1000人分の健康データを様々な分野の視点を介して解析することで見えてきた、「健康長寿」の扉を開く研究について、お話しいたします。

コンテナ輸送から二足歩行へ。異分野に拡張する重心検知理論



渡邊 豊 氏
東京海洋大学
海洋工学系 流通情報工学部門 教授

渡邊氏は移動体の状態を検知し、転倒を未然に防ぐ研究を重ねて三次元重心検知理論を見いだしました。同理論を“人の歩行や転倒”という全く異なる分野に応用した展開について語ります。



セッション

@メインホール

青字：セッションパートナー (㊦)：モデレーター

14:00 -14:50	極限・限定環境での食料生産 —サステナブルビジネスは宇宙食領域に活路あり— 株式会社ユーグレナ	(㊦)鈴木 健吾 氏 ●小林 稜平 氏 ●前川 敏郎 氏 ●西田 宏平 氏	株式会社ユーグレナ 執行役員 CTO 株式会社ElevationSpace 代表取締役 / CEO 高砂電気工業株式会社・未来創造カンパニー Life Scienceグループ・リーダー 株式会社TOWING CEO
15:20 -16:10	魚食の価値観を塗り替える DIC株式会社	●中熊 大英 氏 ●右田 孝宣 氏 ●芦田 慎也 氏 (㊦)塚田 周平	DIC株式会社 新事業統括本部 ヘルスケアビジネスユニット H-1プロジェクト マネージャー フィッシュ・バイオテック株式会社 CEO マルハニチロ株式会社 中央研究所長 株式会社リバネス 執行役員
16:40 -17:30	共創のリアルから見えてくる 大手企業の人材育成 日本ユニシス株式会社	●吉越 一樹 氏 ●笠原 万澄 氏 ●高倉 葉太 氏 (㊦)長谷川 和宏	日本ユニシス株式会社 公共ビジネスサービス第一本部 次世代ビジネス開発部 清水建設株式会社 ベンチャービジネス部 CVC担当 株式会社イノカ 代表取締役 CEO 株式会社リバネス 執行役員 CKO

@セッションルームA

青字：セッションパートナー (㊦)：モデレーター

14:00 -14:50	脱・既存指標の組織論 —「説明しにくい大事なこと」をどう見える化するか— 株式会社池田理化 powered by キャリアデザイン研究センター / 教育総合研究センター	●高橋 秀雄 氏 ●水本 武志 氏 ●平野 貴大 氏 (㊦)立花 智子	株式会社池田理化 代表取締役社長 ハイラル株式会社 代表取締役 株式会社シグマックス MX (Management Transformation) 担当ディレクター 株式会社リバネス キャリアデザイン研究センター センター長
15:20 -16:10	CO₂共生社会 —2050年カーボンニュートラル実現に向けた CO ₂ との付き合い方— ダイキン工業株式会社	●三谷 太郎 氏 ●金子 周平 氏 ●坪井 俊輔 氏 (㊦)大坂 吉伸	ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター 副センター長 兼 CVC室長 経済産業省 産業技術環境局 エネルギー・環境イノベーション戦略室 室長補佐 (総括) サグリ株式会社 代表取締役 CEO 株式会社リバネス 戦略開発事業部 部長
16:40 -17:30	「習慣」「新奇」「極限」から紐解く、 人に嗜好品が必要な理由 日本たばこ産業株式会社	●志方 比呂基 氏 ●飯島 明宏 氏 ●村上 祐資 氏 (㊦)井上 浄	日本たばこ産業株式会社 Global Tobacco Business, R&D Principal Scientist 高崎経済大学 地域政策学部 地域づくり学科 教授 極地建築家 / FIELD assistant 代表 株式会社リバネス 代表取締役副社長 CTO

@セッションルームB

青字：セッションパートナー (㊦)：モデレーター

14:00 -14:50	畜産IoTを実現する “ものづくり”の底力とは 株式会社アオキシテック	●青木 圭太 氏 ●神林 隆 氏 ●小舟 啓介 氏 (㊦)福田 裕士	株式会社アオキシテック 代表取締役 CEO 株式会社Eco-Pork 代表取締役 株式会社YE DIGITAL マーケティング本部 事業推進部 担当部長 株式会社リバネス 投資育成研究センター センター長
15:20 -16:10	アレもコレもソレも!? 「ゲルの時代」がやってくる 東洋紡株式会社	●大田 康雄 氏 ●酒井 崇匡 氏 ●柳沢 佑 氏 (㊦)飯塚 憲央 氏	東洋紡株式会社 常務執行役員 イノベーション部門の統括 東京大学 大学院工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻 教授 株式会社セルフファイバ 代表取締役社長 東洋紡株式会社 参与 イノベーション戦略部長
16:40 -17:30	植物の限界突破に挑む —AI・機能性・物質生産、完全制御のその先へ— 株式会社ブランテックス powered by 農林水産研究センター	●竹山 政仁 氏 ●瀬々 潤 氏 ●蔭山 健介 氏 ●上井 幸司 氏 (㊦)宮内 陽介	株式会社ブランテックス 企画室長 株式会社ヒューマノーム研究所 代表取締役社長 埼玉大学 理工学研究科 教授 室蘭工業大学 大学院工学研究科 准教授 株式会社リバネス 農林水産研究センター センター長 株式会社アグリノーム研究所 代表取締役

ポスター演題一覧

コアタイム▼

両日共に 11:00-11:30 奇数番 | 11:30-12:00 偶数番

合計129演題の熱い研究発表が集まりました。

この場から多くの新しいアイデアや知識を生み、研究をさらに加速させていきましょう。

テクノロジー・スプラッシュについて

アカデミアと企業の研究者が仲間となり新しい研究開発を推進するためには、お互いが持つ課題意識 (Question) と課題解決への情熱 (Passion) を伝える・知るといった相互のインタラクションが非常に重要となります。「サイエンスとテクノロジーをわかりやすく伝える」をコンセプトに、自分の研究・事業内容を発表する超異分野ピッチを実施します。

【ポスター番号のグループ説明】

P: 研究発表

A: オートファジーコンソーシアム会員企業による研究発表

J: JRE Station カレッジ受講生 (エコテックコース) によるプロジェクト紹介

U: リバネスユニバーシティ受講生 (ブリッジコミュニケーションコース等) による活動発表

ポスター No.	タイトル	氏名 (発表代表者)	所属 (発表代表者)	テクノロジー スプラッシュ参加
P-001	痴漢防止個人ユーザー用テクノロジーの開発	Gogoleva Natalia	University of Tsukuba	
P-002	A field investigation on adaptive thermal comfort in school buildings in the temperate climatic region of Nepal	Mishan shrestha	東京都市大学	
P-003	ブランドビジュアルライジング AI アイ「BVAE」	Nicholas Grooms	University of Tsukuba	
P-004	The environmental impact assessment of desertification considering land use and climate change.	Runya Liu	東京都市大学	
P-005	食品や料理の栄養素を3Dにより表示する方法の検討	カバリエロ 優子	宇都宮大学	
P-006	炭酸カルシウム微粒子混合セルロースナノファイバーフィルムの創製	コマツ ヒロアキ	東京理科大学	
P-007	植物のフラボノイドを“極”探求	阿部 尚仁	岐阜薬科大学	
P-008	離島工学に基づいたロケットストーブの活用研究	伊藤 武志	弓削商船高等専門学校	
P-009	遠心分離で、家畜ふん尿の問題を解決!	井之口 哲也	有限会社ヴァンテック	● 3/5
P-010	腹腔鏡下手術における腫瘍検出を可能にする蛍光クリップ・蛍光検出システムの開発	稲田 シュンコ	熊本大学	
P-011	アコースティック・エミッションで捉える植物や微生物の動き	蔭山 健介	埼玉大学	○ 3/4
P-012	データサイエンスを利用したエンジン部品の表面粗さ評価法に関する研究	永井 奨	法政大学大学院	
P-013	エンジン・自動車部品のためのロバストフィルタに関する研究	永井 奨	法政大学大学院	
P-014	月・惑星探査に向けた荷電粒子による絶縁材料の帯電評価	榎 海星	東京都市大学	
P-015	睡眠不足による免疫応答変化のメカニズム解明	苑原 雄也	慶応義塾大学	● 3/5
P-016	高靱性バイオマス材料の開発を目指した化学修飾セルロースとヒドロキシアパタイトの複合化	奥田 耕平	同志社大学大学院理工学研究科	● 3/5
P-017	高濃度のグルコースを含む海藻・水草の省力化養殖	岡本 優	アルジェカルチャーテック合同会社	
P-018	キズアトができない外科手術	岡野 純子	滋賀医科大学	○ 3/4
P-019	ハイドロゲルによるタンパク質結晶の保護	加藤 誠一	学習院大学	
P-020	温泉微生物の秘めたる可能性に迫る	河野 恵美	東京都立大学	
P-021	歪み SiGe/Ge (111) におけるクラック形成と伝搬方向制御	我妻 勇哉	東京都市大学院	
P-022	個人のコンテンツ嗜好を推定するための脳モデルに基づいたグルーピングシステム	岩坂 大智	芝浦工業大学	
P-023	スベルミジンは合成シグナルを減少させずにオートファジーを促進することで効果的に加齢性骨格筋萎縮 (サルコペニア) を抑制しうる	岩田 知大	筑波大学	
P-024	In vivo / in vitro を組み合わせた化学物質の抗甲状腺ホルモン作用評価法の開発	吉川 綾乃	麻布大学大学院	
P-025	改札機周辺の人流解析	吉川 航生	東京大学大学院	● 3/5
P-026	工作機械の主軸テーパソケット内面の摩耗を定量測定可能とする画像計測法の研究	吉田 一朗	法政大学、法政大学大学院	

ポスター No.	タイトル	氏名	所属	テクノロジー スプラッシュ参加
P-027	大規模イベント会場における規制退場	宮川 陸	東京大学大学院	
P-028	自閉症児のこだわり行動からの切替行動を促すシステムに関する研究	宮脇 雄也	東京都立大学	○ 3/4
P-029	空中／水中ドローン向けの通信／制御技術	近藤 慎之介	国立大学法人東京農工大学	
P-030	折り畳み可能なチタン合金薄板の開発	戸部 裕史	宇宙航空研究開発機構	
P-031	楽しみながら食事で感染症予防 ～食事チャレンジ～	五領田 小百合	山形大学農学部 / 辻料理教育研究所 / 獨協医科大学医学部	
P-032	食料確保・増産に資する植物の非生物的環境ストレスの新規リアルタイム計測法の開発	呉 行正	福岡工業大学	
P-033	等温PCR法を用いたCpGメチル化レベル測定法の開発	後藤 雅典	東京工科大学大学院	
P-035	スリルを味わう認知モデルの開発	高田 亮介	静岡大学大学院	
P-036	ヒト老化表現型 / 関連疾患のモデルとしての希少疾患ニホンザル家系とそのiPS細胞	今村 公紀	京都大学	
P-037	超スマートエネルギー社会の実現に向けて	根本 雄介	東京都市大学大学院	
P-038	災害時や途上国でも利用可能なウェアラブル血液浄化装置の開発	佐々木 信	筑波大学大学院	
P-039	画像処理による形状・分散評価の応用	佐藤 圭浩	東京都市大学	
P-040	絶食と食品成分を用いた腸内細菌叢および免疫応答の制御	佐藤 謙介	慶應義塾大学大学院	
P-041	GHzオーダーの超音波計測を応用した高温下における絶縁材料の性能評価	佐藤 孔亮	東京都市大学	
P-043	ローズマリー由来のカルノシン酸は二つの経路でCOVIDを抑制する可能性	佐藤 拓己	東京工科大学	
P-044	放射能汚染をデジタル空間上に可視化する統合型放射線イメージングシステム	佐藤 優樹	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	
P-045	量子アクティブ粒子の非エルミート量子ウォークを用いた定義	山岸 愛	東京大学	
P-046	スマートフォンへの愛着を高める持ちやすいスマートフォンケースの開発	山口 雄大	法政大学大学院	
P-047	画像用エッジ保存型ノイズ除去ローパスフィルタの研究	山口 雄大	法政大学大学院	
P-048	L2ノルムを用いたエッジ保存型ノイズ除去ローパスフィルタの研究	山口 雄大	法政大学大学院	
P-049	持続可能な有機EL素子を指向したレアメタルフリーな室温りん光材料	施 宏居	大阪大学	
P-050	子どもの「示唆」の生成を促進するアプリケーションの開発の中間発表①：J・デューイとE・ジェンドリンの哲学を援用して	小笠原 正太郎	早稲田大学	
P-051	次世代研究者が最大限に学びを得るために必要な“サービス”とは	小山 奈津季	株式会社リバネス	
P-052	光のトンネル効果（エバネッセント現象）を見る実験教材の提案	夏目 雄平	千葉大学	● 3/5
P-053	子どもと養育者のオペラント行動を軸とした行動分析学に基づく遠隔療育支援－保護者、支援者、専門家、行政を結びつける産学連携に向けて－	小幡 知史	NPO法人だいち	● 3/5
P-054	代替タンパク質としての昆虫エリサンの利用について	小林 功	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	
P-055	食後高血糖が及ぼす血管硬化を身体活動で抑制する	小林 亮太	帝京科学大学	
P-056	高速気相成長法を駆使した厚膜蛍光体の合成に関する技術	松本 昭源	横浜国立大学大学院	○ 3/4
P-057	ヒラメ生産工場	松本 奏	私立浦和実業学園中学校・高等学校	
P-058	北海道白糠町産素材を利用した認知症予防のための機能性食品開発	上井 幸司	室蘭工業大学	● 3/5
P-059	糖鎖ライブラリ多様化に向けた特定の糖選択的変換	上田 善弘	京都大学	
P-061	小胞体駆動の凝集抑制が神経変性疾患を防ぐ	城 裕己	徳島大学大学院	
P-062	体内時計のリズムの違いやズレと、各食事別の栄養摂取状況の違いの関係性について	新田 理恵	早稲田大学	
P-063	ロケットストーブとスターリングエンジンを組み合わせた可搬式発電設備の開発	森 耕太郎	弓削商船高等専門学校	● 3/5

ポスター演題一覧

コアタイム▼

両日共に 11:00-11:30 奇数番 | 11:30-12:00 偶数番

【ポスター番号のグループ説明】

P: 研究発表

A: オートファジーコンソーシアム会員企業による研究発表

J: JRE Station カレッジ受講生(エコテックコース)によるプロジェクト紹介

U: リバネスユニバーシティ受講生(ブリッジコミュニケーションコース等)による活動発表

ポスター No.	タイトル	氏名(発表代表者)	所属(発表代表者)	テクノロジー スプラッシュ参加
P-064	合成化学的アプローチによる糖鎖機能の解明と制御	真鍋 良幸	大阪大学	
P-065	衛星利用の秘匿通信を可能にする小型デバイス	水越 紀良	株式会社 IHI ジェットサービス	
P-066	高糖度トマトの低ストレス栽培方法	菅野 俊幸	福島県福島市立吾妻中学校	
P-067	SDGs 達成に貢献するガス吸着能・ プロトン伝導能を持った有機多孔質材料の創製	成岡 未来	大阪大学	
P-068	職場における称賛の可視化と心理的効果の実証研究	正木 郁太郎	東京女子大学	
P-069	合成バイオ技術を活用した化学品の生産	清水 雅士	マイクロバイオファクトリー株式会社 / Curelabo 株式会社	
P-070	糖鎖ケミカルノックインが拓く膜動態制御	生長 幸之助	東京大学	
P-071	膜動態を「あやつる」ための膜タンパク質の化学的糖鎖修飾法	生長 幸之助	東京大学	
P-073	慢性腎臓病モデルマウスにおける塩分負荷および アルギン酸類の影響	石松 亜里菜	熊本大学	
P-074	次世代デバイスに向けた革新的な有機半導体材料の創製	赤井 亮太	大阪大学	
P-075	交流電界曝露による生存期間延長および睡眠改善効果	川崎 陽久	Foundation for Advancement of International Science (FAIS)	○ 3/4
P-076	“SATOYAMA バンキング” 世界に羽ばたく日本企業を SDGs と自然環境保全活動の見える化で応援!	川村 昂史	東京都市大学	○ 3/4
P-077	生体分子標識を指向した炭素-炭素二重結合触媒の開発	浅野 圭佑	京都大学	
P-078	1. 都市域における雨水流出抑制と公園樹木の生育環境の改善との両立 2. 富士山での気象観測拠点づくりについて	前田 源次郎	秋田大学理工学部通信講座受講生	
P-079	文理融合で取り組む地域課題解決	村山 賢哉	共愛学園前橋国際大学	
P-080	酸素の微細気泡を用いたクルマエビ Marsipenaeus japonicus の飼育	村山 智浩	浦和実業学園中学校・高等学校	
P-082	試食を伴わずに味が想像できるトマトのテイストマップの作成	大橋 弘範	福島大学	○ 3/4
P-084	ヒト特異的反復配列から転写される脳発現 RNA 遺伝子 HSTR1 の同定	竹内 亮	信州大学大学院	
P-085	食べられる栄養スプーンの開発に向けて	中原 杏菜	学習院女子高等科(高校生)	
P-086	漁法の捕獲用餌及び養殖魚用餌の開発	中山 仁助	四国中央市 学校教育課(中学)	
P-087	オフィス環境の Activity-Based Workplace のための 機械学習フレームワーク	中村 陽	芝浦工業大学	
P-088	遠く離れたライバルや仲間と一緒に走る! — 拡張現実によるランニング支援システム —	中島 伸介	京都産業大学	
P-089	表面性状の負荷長さ率を算出する 負荷曲線の計算アルゴリズムの提案	町田 大和	法政大学大学院	
P-090	テラヘルツ偏光計測を用いた樹脂の内部残留応力の評価法の研究	町田 大和	法政大学大学院	
P-100	人間重心検知理論によるランニング中の姿勢・疲労評価システム	長谷川 大悟	東京海洋大学	○ 3/4
P-101	レアメタルの水平リサイクルに関する事業	長縄 弘親	株式会社 エマルジョンフローテクノロジーズ	○ 3/4
P-102	テンソル分解を用いた教師なし学習による変数選択法	田口 善弘	中央大学	
P-103	陸上養殖で世界を変える	田中 俊子	フィッシュ・バイオテック株式会社	● 3/5
P-104	子どもと養育者のレスポナント反応を軸とした 行動分析学に基づく遠隔療育支援	渡辺 修宏	国際医療福祉大学	● 3/5
P-105	腸管腔ケミカルセンシング標的医薬品・機能性食品開発	唐木 晋一郎	静岡県立大学	
P-106	A2 ミルクって知ってますか?	藤井 雄一郎	有限会社 藤井牧場	○ 3/4
P-107	ビッグデータの利用や教育における質的な研究の実践	藤井 幹雄	国際医療福祉大学	
P-108	担持金ナノ粒子による酒類の香りの制御	徳永 信	九州大学	● 3/5
P-109	あらゆる先進技術で次世代製品の物作り方法	任 振威	東京都市大学	

ポスター No.	タイトル	氏名	所属	テクノロジー スプラッシュ参加
P-110	省エネルギー添加剤技術および未利用バイオマスの有効活用研究	梅村 一之	医療創生大学	
P-111	μ粒子を活用した気象予報	梅津 昂征	山形県立米沢興譲館高等学校	○ 3/4
P-112	デジタルゲームのプレイは認知機能向上に効果的なのか？ —効果測定プロトコルの提案—	萩原 悟一	九州産業大学人間科学部 スポーツ健康科学科	○ 3/4
P-113	「人の知性」の力学: 判断が変わる・判断を変える	白砂 大	追手門学院大学	
P-114	進化モデルが解き明かす社会構造の普遍性と多様性	板尾 健司	東京大学	○ 3/4
P-115	プロジェクションマッピングによるデータ転送技術	樋口 綾乃	東京農工大学	
P-117	セラミックスを利用した蓄熱・断熱材料	北 英紀	名古屋大学	
P-118	化学プローブで「みる」タンパク質膜動態の糖鎖制御	堀 雄一郎	大阪大学	
P-119	東京湾赤潮珪藻の魚粉代替飼料原料としての可能性	綿貫 大地	世田谷学園中学校高等学校	● 3/5
P-120	温室効果ガスの選択的分離を指向した オール有機の多孔質材料	網 貴裕	大阪大学大学院	
P-121	従来の2倍の発電効率を達成する有機薄膜太陽電池の開発	木下 耀	大阪大学	
P-122	N6メチルアデニン修飾ヒトテロメア i-motif 構造の 熱安定性解析	木村 洸介	東京工科大学大学院	
P-123	ダブルネットワークゲルを用いた酸化チタンの合成と 比表面積の評価	野口 真司	北海道大学	
P-124	腰下映像および歩行感覚提示を用いた歩行練習システム	矢野 博明	筑波大学	
P-125	吉野家のエージェントシミュレーション	柳澤 大地	東京大学	● 3/5
P-126	改変したヒストン様タンパク質 HU による核酸輸送	友池 史明	学習院大学	
P-127	テーラーメイド配線に応用可能な EGaln の形状パターンニング技術	有我 俊一	東京理科大学	
P-128	性ホルモンの一つ、エストロゲンは 骨形成細胞の分化と基質石灰化のトリガーとなる	鈴木 啓	群馬大学	● 3/5
P-129	Saya Key	鈴木 沙耶香	筑波大学	
P-130	レドックス制御を介した小胞体ストレスセンサーの 感知機構の解明	和田 匠太	京都産業大学	○ 3/4
P-131	油脂廃棄物の処理を目的とした 自立エネルギー型電解システムの提案	廣森 浩祐	東北大学	● 3/5
P-132	転ばない電動バイク開発PJ	濱田 浩嗣	RIDE DESIGN / ライドデザイン、 HAL 大阪、大阪ハイテクノロジー学園	○ 3/4
P-133	ADME 人形 (パペット) を用いた服薬指導と それ以外の活用法と全世界への普及戦略	高村 徳人	九州保健福祉大学	● 3/5
P-134	バイオガスを液体燃料へ ～カーボンニュートラル循環型酪農～	大久保 敬	OKPOU	
P-135	汎用的なステガノグラフィ印刷のための プラズモニックタグ「ステルスナノビーコン」	福岡 隆夫	京都大学	
A-001	実用レベルのオートファジー活性化素材スクリーニング法	石堂 美和子	株式会社 AutoPhagyGO	
A-002	オープンイノベーションによる オートファジーサプリメントの開発	松川 泰治	UHA 味覚糖株式会社	
A-003	脂溶性薬物をナノエマルジョン水溶液へ —吸収改善や生体評価での利用—	丸山 真吾	株式会社 MORESCO	○ 3/4
J-001	サステナブル温浴施設「発酵サウナ」	柴田 久也	ロート製薬株式会社	○ 3/4
J-002	出口戦略を起点とする、海老の資源循環型養殖の実現と その民主化	別府 大河	カフェ・カンパニー (株)	
J-003	廃棄野菜粉末のアップサイクル	山中 未来	株式会社丸井グループ	
J-004	東京湾でサステナブルな真珠養殖を実現する	笠原 万澄	清水建設	
U-001	論文を紹介する会の運営について	足立 零生	東京工業大学	
U-002	先行研究を網羅的に把握するための検索システムの 開発に向けて	八木 佐一郎	東京大学	
U-003	広島から課題集積型博物館を作る	友重 圭雅	広島ベンチャーキャピタル	

ブース一覧

コアタイム▼

両日共に 11:00-11:30 奇数番 | 11:30-12:00 偶数番

ブースでは、各機関、企業による展示を行います。ものづくり、海洋環境、農学、ヘルスケア、材料工学、フードテックなどといった様々な分野の研究や事業が集まっており、まさに「超」異分野の世界が広がっています。

【ブース番号のグループ説明】

B: 事業紹介ブース

E: 株式会社ユージェネの研究員による研究発表

R: りそな総合研究所「新事業領域チャレンジ講座」参加企業による事業・技術紹介

ブースNo.	タイトル	氏名(発表代表者)	所属(発表代表者)	テクノロジー スプラッシュ参加
B-001	機動的な研究開発を可能にする研究リソースシェアリングプラットフォーム「Co-LABO MAKER」	フルヤ ユウキ	東北大学 / 株式会社 Co-LABO MAKER	
B-002	再生可能エネルギーを使う マイクログリッドベースロードの開発拡販	阿部 中	プラント機工株式会社	● 3/5
B-003	微生物との共生でデザインする持続可能で健康な空間づくり	伊藤 光平	株式会社 BIOTA	● 3/5
B-004	熱ソリューションで挑むカーボンニュートラル	井手 拓哉	Lotus Thermal Solution Inc.	
B-005	衛星データによる土壌の理化学特性	益田 周	サグリ株式会社	
B-006	植物を〇〇したい! を適える栽培環境研究体です	園山 芳充	株式会社アグリライト研究所	
B-007	磁気力と超電導で脱炭素を実現! 自立式モビリティと超電導発電機	岩下 卓利	ハロースペース株式会社	
B-008	あらゆる食をより健康でより持続可能に進化させる NinjaFoods	寄玉 昌宏	株式会社 Sydecas	○ 3/4
B-009	3分で充電が完了する電動バイクシェアリングサービス	金澤 康樹	株式会社ナチュラニクス	
B-010	毛髪を用いた中長期的なストレスの評価	五十棲 計	株式会社イヴケア	
B-011	身体性ロボティクスの展開	伍賀 正典	福山大学	
B-012	ニオイを測るセンサ	今村 岳	国立研究開発法人物質・材料研究機構	● 3/5
B-013	精神的時短による、業務効率の向上に関する研究	根本 雅祥	株式会社エスケア	
B-015	付着生物(フジツボ・イガイ・ヒドラ・藻類等)に特化した 調査研究ビジネス	山下 桂司	株式会社セルリサーチ	○ 3/4
B-016	壊れないセンサ・IoTシステム「i-Line」で 環境・インフラを視る	山崎 大志	株式会社コアシステムジャパン	○ 3/4
B-017	未来をつくる臓器工学	小原 弘道	東京都立大学	○ 3/4
B-018	バイオマス複合プラスチック活用による環境負荷の低減	小出 秀樹	アイ-コンポロジー株式会社	○ 3/4
B-019	さとうきび未利用資源を活用したアップサイクル素材の開発	清水 雅士	マイクロバイオファクトリー株式会社 / Curelabo 株式会社	○ 3/4
B-020	顕微画像データ取得を効率化: 新しい顕微鏡自動化装置の開発	清川 達則	住友重機械工業株式会社	
B-021	日本でも安全なお肉を食べられるために ~人にも環境にも優しい畜産飼料を開発販売~	川村 洋一郎	KAWAMURA & Co.,LTD.	
B-022	加齢臭分子標的型デオドラント	大塚 雅巳	サイエンスファーム株式会社	● 3/5
B-023	世界初の「あな空き」技術を利用した 高機能性素材の開発	長曾我部 竣也	岐阜大学大学院	● 3/5

ブースNo.	タイトル	氏名(発表代表者)	所属(発表代表者)	テクノロジー スブラッシュ参加
B-024	海上ファーム / グリーンオーシャン	田崎 有城	N-ARK	
B-025	グラフェンスーパーキャパシタ	唐 捷	マテリアルイノベーションつくば	
B-026	ビールの味の分析による 顧客とのコミュニケーションツールの開発	藤田 美菜	株式会社アイニウム	
B-027	これで駄目なら諦めてください。 1ビットの差も可視化する、画像改善装置。	堂之前 義文	株式会社IHIジェットサービス	○ 3/4
B-028	視覚障がい者向け 歩行ナビゲーションシステム「あしらせ」の 開発、注意資源量の定量化	徳田 良平	株式会社 Ashirase	● 3/5
B-029	児童の成長を可視化する療育施設向けモニタリングシステム	平塚 智博	Easpe.inc	● 3/5
B-030	液体検体の常温固相化による革新的なバイオサンプリング	平田 史明	株式会社ユニバーサル・バイオサンプリング	○ 3/4
B-031	世界の食と健康を変える排塩技術への挑戦	林 祐也	トイメディカル株式会社	
B-032	サーフェス形状探索サービスのご紹介	高橋 鷹山	株式会社 OUTSENSE	○ 3/4
B-033	BE-LOG ～人生の大事な法的契約をDX化した ライフイベントのリーガルログ～	中野 遼太郎	株式会社 Stork Visit	
B-034	新たな農業革命で人々を幸せに	遠藤 久道	株式会社農園貞太郎	
B-035	ゲノム編集プラットフォーム事業	竹澤 慎一郎	株式会社セツロテック	
E-001	微細藻類ユーグレナ由来のバイオマスプラスチック “バラレジン”について	阿閉 耕平	株式会社ユーグレナ	
E-002	ユーグレナ由来成分を活用したサステナブル肥料の開発	石井 慧	株式会社ユーグレナ	
E-003	閉鎖環境下における宇宙食としての藻類の可能性	豊川 知華	株式会社ユーグレナ	
E-004	微細藻類ユーグレナを添加した大豆発酵食品テンペの評価	村田 阿子	株式会社ユーグレナ	
E-005	ユーグレナ品種改良技術の進展	山田 康嗣	株式会社ユーグレナ	
E-006	微細藻類ユーグレナとタマゴ由来化粧品原料を組み合わせた 化粧品処方の開発	安田 光佑	株式会社ユーグレナ	
E-007	微細藻類ユーグレナ由来原料の吸引による抗ウイルス作用 ～吸うユーグレナの可能性～	中島 綾香	株式会社ユーグレナ	
E-008	新規藻類の大量培養技術の確立と Farm to Tableでの加工・販売	竹内 卓人	株式会社ユーグレナ	
E-009	微生物によるエルゴチオネイン産生の可能性	大津 巖生	株式会社ユーグレナ	
R-001	一滴でも多くの水を、一人でも多くの人へ	若林 直樹	株式会社 日さく	
R-002	脱プラスチック	清水 弘	協和精工 株式会社	
R-003	薄膜反射吸収素材の研究開発	清藤 新一郎	光陽オリエンツジャパン株式会社	
R-004	鏡面ショットマシンSMAPによる研磨について	大内 達平	東洋研磨材工業株式会社	
R-005	搬送にプラスα	平見 剛	株式会社大日ハンソー	
R-006	CFRPを用いた試作開発	落合 隼平	株式会社 UCHIDA	

会場マップ

□ 新型コロナウイルス感染対策について

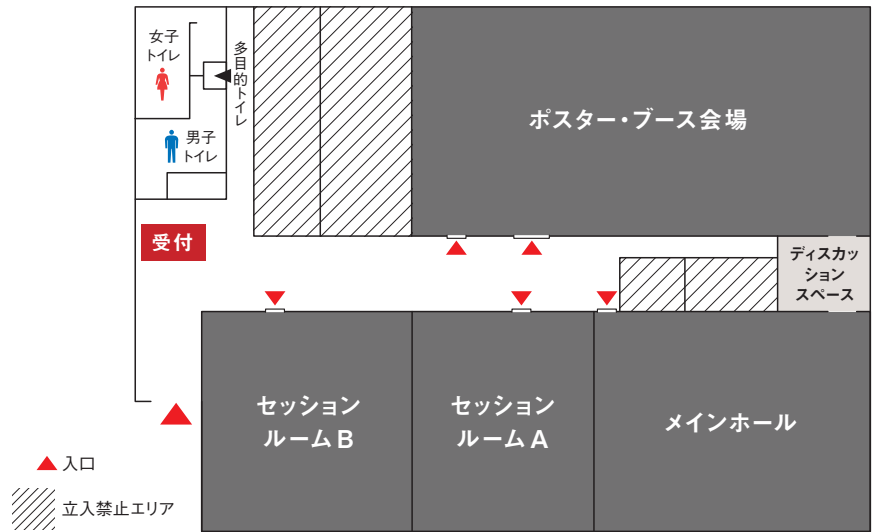
会場内では次の事項にご協力ください

- ・マスクの着用と大声を出さないこと
- ・咳エチケットとこまめな手洗い
- ・アルコール消毒液による手指消毒の実施
- ・人と人との間隔は、密が発生しない程度の間隔（1m程度）を空ける

□ 昼食について

感染対策のため、会場内でのお食事はご遠慮いただいております。昼食は近隣の飲食店等をご利用ください。

TOC五反田メッセ 全体図



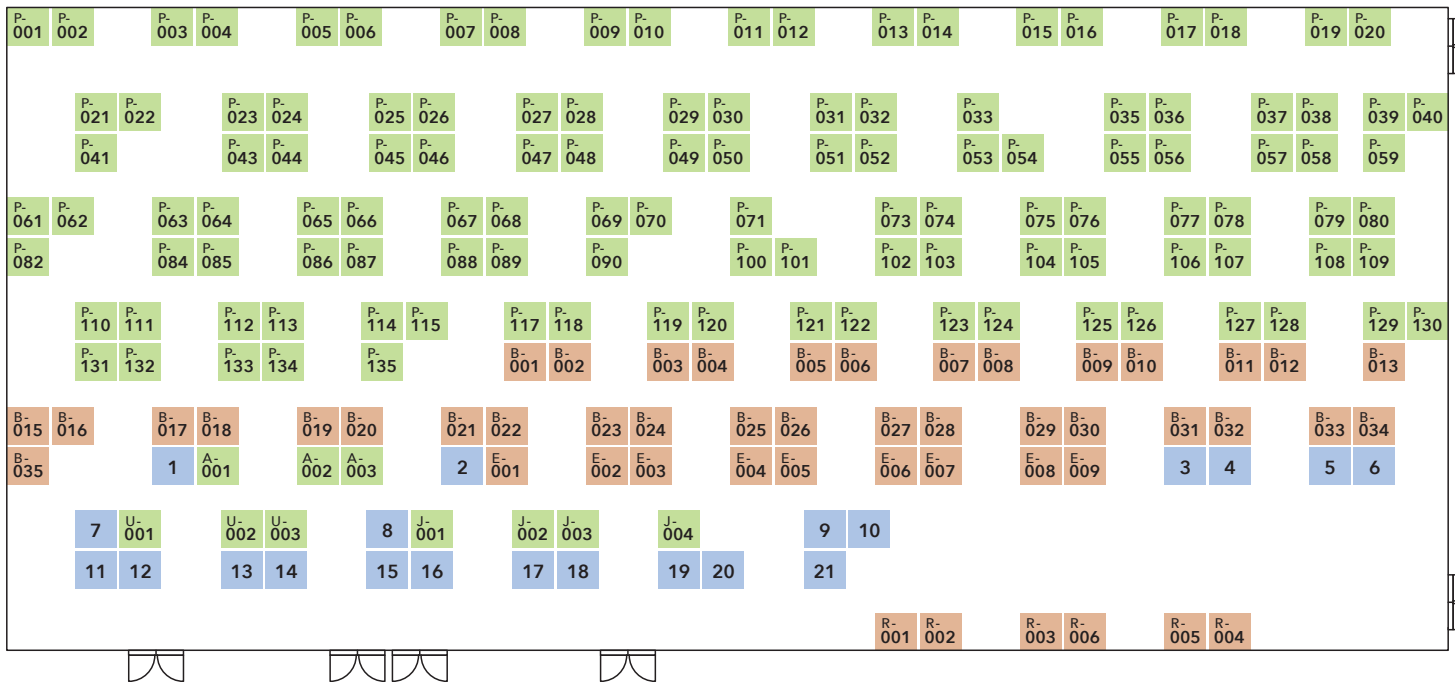
ポスター・ブース会場

【ポスター番号のグループ説明】

- P: 研究発表
- A: オートファジーコンソーシアム会員企業による研究発表
- J: JRE Station カレッジ受講生（エコテックコース）によるプロジェクト紹介
- U: リバネスユニバーシティ受講生（ブリッジコミュニケーションコース等）による活動発表

【ブース番号のグループ説明】

- B: 事業紹介ブース
- E: 株式会社ユウグレナの研究者による研究発表
- R: リそな総合研究所「新事業領域チャレンジ講座」参加企業による事業・技術紹介



展示一覧

展示 No.	タイトル
1	一般社団法人日本オートファジーコンソーシアム
2	株式会社ユウグレナ
3・4	超異分野学会
5・6	TECH PLANTER
7	リバネスユニバーシティ
8	JRE Station カレッジ
9	NEST（ジュニアドクター育成塾事業）研究発表
10	小中学生の才能発掘研究所「NEST LAB.」

展示 No.	タイトル
11・12	生物コミュニケーション大作戦 ハイラブル(株)・(株)フォーカスシステムズ・(株)リバネス
13・14	教育応援プロジェクト(株式会社リバネス)
15・16	研究応援プロジェクト(株式会社リバネス)
17	株式会社リバネス 会社紹介・採用情報
18	教育総合研究センター(株式会社リバネス)
19	キャリアデザイン研究センター(株式会社リバネス)
20	ものづくり研究センター(株式会社リバネス)
21	農林水産研究センター(株式会社リバネス)